



労災防止の“新常識” 「LINE of FIRE」



公益財団法人国際人材育成機構
社会保険労務士
原田 芳幸

① 「「LINE of FIRE」のターゲットになるな！」の取組み

海外では、安全管理や労働災害防止に向け「LINE of FIRE^{*}のターゲットになるな！」という取組みが行われています。労働災害の原因になる“危険源のエネルギー”を避けるため、「「LINE of FIRE」のターゲットになるな！」と互いに注意し合い、**重篤な労働災害を未然に防ごう**とするものです。今回は、「挟まれ・巻き込まれ」や「飛来落下」を例に「LINE of FIRE」、つまり「弾丸の道筋」を意識的に避ける方法を紹介します。

※「FIRE」には「火」や「炎」の他、軍事用語で「銃弾やミサイルなどの発射、射撃」という意味があります。「LINE of FIRE (ライン・オブ・ファイアー)」は、弾道や射線(方向)、攻撃を受けやすい位置といった意味です。戦場で弾丸が飛び交う道筋が大変危険であるのと同様に、労働災害の原因になる“危険源のエネルギー”が通る道筋は大変危険であり、そのゾーンに足を踏み入れることで弾丸により被災することになります。



② 労働災害のメカニズム

私たちは、エネルギーを使って仕事をしています。

そのエネルギーが本来の仕事に使われるのではなく、“危険源のエネルギー”として人に襲いかかってくることにより、労働災害が発生します。

この“危険源のエネルギー”に着目し、それを回避することができれば、労働災害を防ぐことができます。

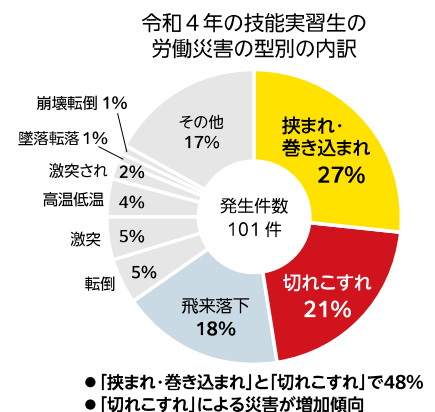


③ 「挟まれ・巻き込まれ」や「飛来落下」は重篤な労働災害

「挟まれ・巻き込まれ」や「飛来落下」の労働災害は年々多発しています。労働災害全体に占める割合も高く、重篤な事例也多発しています。

当機構の受入れ企業では、2022年に101件(不休災害を含む)の技能実習生の労働災害が発生しました。このうち「挟まれ・巻き込まれ」と「飛来落下」は45件、さらに12件の重篤な労働災害が発生しています。

これらの労働災害は、企業において、基本的な安全対策が行われていれば防止できたと考えられるものです。



④ 「「LINE of FIRE」のターゲットになるな！」の提唱による重篤な労働災害防止

では、重篤な労働災害を未然に防ぐためにどのような取組みが必要なのでしょう？

“危険源のエネルギー”が通る道筋、つまり「LINE of FIRE」を事前に見極め、人間の身体あるいはその一部が**そこに入らないようにする**ことが必要です。

「「LINE of FIRE」のターゲットになるな！」危険なゾーンに入るなと呼びかけることで、重篤な労働災害や死亡につながる労働災害を回避し、撲滅していくことが重要です。

5 「[LINE of FIRE] のターゲットになるな！」を意識した危険回避の具体例

それでは、「労働者が陥る危険な場面」の具体的なよくある事例を確認していきましょう。

<p>1 重力 (位置エネルギー)</p>  <p>レーンにより吊り上げられた重量物の下部に入らない！</p> <p>クレーンの吊り荷の重力エネルギーは下方に向いている</p>	<p>2 重力 (位置エネルギー)</p>  <p>奥に重量物が隠れたハッチの下に入らない！</p> <p>ハッチの奥の重量物の重力エネルギーは下方に向いている</p>	<p>3 機械のエネルギー</p>  <p>機械の駆動部に身体あるいはその一部を入れない！</p> <p>機械のエネルギーは駆動方向に向いている</p>
<p>4 建設機械 (ユンボ)</p>  <p>ユンボのアームの駆動方向に入らない！</p> <p>ユンボの機械エネルギーはアームの駆動方向に向いている</p>	<p>5 荷役運搬機械 (荷物自動車トラック)</p>  <p>トラックのバックの方向に入らない！</p> <p>バック方向は死角となる トラックの動力エネルギーはバックの方向に向いている</p>	<p>6 荷役運搬機械 (フォークリフト)</p>  <p>フォークリフトのバックの方向に入らない！</p> <p>バック方向は死角となる フォークリフトの動力エネルギーはバックの方向に向いている</p>

6 職場全体の取組みでより重篤な労働災害を撲滅

大切なことは、日ごろから“この場所が [LINE of FIRE] である”と見抜き、危険なゾーンに入らないように意識することです。それを心掛けるだけでも、多くの労働災害を防ぐことができます。

安全そうに見える場所でも、突然何かが通る可能性がある場所での作業や重機の近くでは、危険予知活動や指差し呼称による意識付けも重要です。

従業員個人だけでなく、職場全体で共有し、危険なゾーンに立ち入る際は、お互いに注意しあうことで重要です。

「[LINE of FIRE] のターゲットになるな！」を職場の新しい“常識”として、お互いに注意し合うことにより、重篤な労働災害を撲滅しましょう。